



蓮根小コミュニティ・スクール【iCS 便り】 ー令和 6 年度 Vol.3ー



寒さも少しずつ厳しくなり、冬の訪れを感じる頃となりました。体調に気を付けて一年の締めくくりを迎えたいと思います。
令和 6 年 11 月 20 日（水）に開催された、第 3 回コミュニティ・スクール委員会（CS 委員会）の議事の概要をご報告いたします。

<教職員自己紹介/2 学期の様子・学校報告/地域コーディネーター活動報告等>

- 「地域に開かれた学校づくり」を推進するために、CS 委員会とのコミュニケーション強化を目的として学級担任・専科 20 名の先生が参加し、CS 委員を交えた「熟議」を実施した（後述：CS 委員会との連携等）。
- 芦谷校長先生より、「令和 6 年度全国学力・学習状況調査」の結果が報告され、「授業改善推進プラン」に基づき児童の学力向上を図るとの説明があった（はすね 9 月号、蓮根小 Classroom に掲載）。
- 菅野副校長先生より、前回熟議テーマ「児童の居場所づくり」に向けた取り組みの一環として、大学生 2 名が学習支援員として週二回活動いただいているとの報告があった。
- 地域コーディネーター（長山委員長）より、2 学期の活動報告（10/29 校外学習の見守り）および今後の活動予定（1/25 漢字検定、2/15 キャリア教育）の報告があり、合わせてキャリア教育の講師に係る推薦依頼があった（自薦他薦を問わず）。

<現状の課題、「熟議テーマ」に対する質疑・意見等>

- 低学年の蓮根三丁目公園への遠足の見守りや昔遊びの講師など、計画段階から相談することで、地域の方（町会）のサポートを検討いただくことも可能と伺った。
- 「地域コーディネーター」の役割が、地域と学校とのマッチング（学校行事の見守りや漢検等の各種サポート）であり、おやじの会以外のネットワーク活用（地元商店街への橋渡しや企業のゲストティーチャー派遣等）について相談することも可能との話を伺った。
- 子どもたちの自信を深める体験、学校生活では体験しがたい外部の人とのつながり、色々な出会いが大切だと考えている。CS 委員・地域コーディネーターの皆さんの様々なネットワークに期待している。今後は、もう少し気軽に相談していきたい。
- 外国籍の児童については、言葉の問題のみならず文化的な背景や慣習の違いなどもあり、きめ細かい対応が求められている。地域や行政のサポート制度の理解も重要と考えている（他校や保育園においても同様）。
- アイキッズを利用している児童の様子について情報共有したい。長期休暇（夏休み）には 120 名程の利用・参加があった。子どもたちには極力外に出て身体を動かす活動を心がけた。
- 教員の働き方改革について、CS 委員会が電話応対時間の変更しに背中を押してくれたと聞いている。今後も教員の労働実態等について、適切に情報共有を進め相互理解を深めていきたい。

以上



【蓮根小 CS 事務局】

連絡先：hasunecs@gmail.com

蓮根小コミュニティ・スクールに対する皆さまのご意見等をお知らせください



Gmail アドレス